令和3年度

編入学者選抜募集要項

(編入学案内)出願書類添付

		主	要	日	程	
出願	期	間	令和 2	年7月3	1日(金)~8月4日(火	()
検査	期	日	令和 2	年9月1	日 (火)	
合格 努	ě 表	日	令和 2	年9月4	4日(金)	
入学確約書	書提出 其	胡限	令和 2	年10月16	6日(金)	



独立行政法人国立高等専門学校機構

福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30 TEL 0246-46-0721 (学生課入試係) FAX 0246-46-0742 (学生課) URL https://www.fukushima-nct.ac.jp/

目 次

令和 3	年度編入学者選抜募集要項
1	本校の入学者受入方針 (アドミッションポリシー)
2	各学科が期待する入学者像1
3	募集人員および編入学年次・・・・・・・2
4	願書受付
5	検査期日等・・・・・・・・・・・・・・・・2
6	合格者発表
7	「入学確約書」の提出
8	出願資格等
9	その他8
10	検定料振り込みについての注意9
編入学	案内
1	高等専門学校並びに本校の特色・・・・・・10
2	本校の教育理念10
3	本校の学習・教育目標10
4	福島高専のディプロマポリシー (卒業認定方針)10
5	養成する人材像
6	卒業時に身につけるべき学力や資質・能力11
7	福島高専のカリキュラムポリシー (教育課程編成方針)12
8	修業年限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
9	教育課程
10	学生生活20
11	学校行事20
12	学費等20
	奨学金制度21
	入学料および授業料免除制度21
	学生寮22
16	卒業生の進路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
出願書	類
編	「入学者選抜願書·写真票·受検票·推薦書·検定料納入書

令和3年度 編入学者選抜募集要項

※ 本校は、平成28年度にコミュニケーション情報学科を、平成29年度には工学系 4 学科の学科改組を行い、下記のように学科名称が変更されました。

なお,新学科には平成29年度入学の1年生から,学年進行によって随時適用となります。令和 3年度編入学生は,改組後の新学科への入学となります。

【旧学科名称】 【新学科名称】

機 械 エ 学 科 → 機 械 シ ス テ ム エ 学 科 電 気 エ 学 科 → 電気電子システム工学科 物 質 エ 学 科 → 化 学 ・ バ イ オ エ 学 科 建 設 環 境 エ 学 科 → 都 市 シ ス テ ム エ 学 科 コミュニケーション情報学科 → ビジネスコミュニケーション学科

1 本校の入学者受入方針(アドミッションポリシー)

福島高専では、次のような人の入学を期待しています。

- (1) 創造的な「モノづくり」に強い興味を持っている人
- (2) 基礎的学習内容を十分に理解し、自ら学ぼうとする人
- (3) 自ら目標を立て、達成に向けて粘り強く努力する人
- (4) あらゆる物事に関心を持ち、深く探究する人
- (5) しっかりしたモラルを持ち、まわりの人たちを尊重する人

2 各学科が期待する入学者像

機械システム工学科

- ① ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人
- ② 環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人
- ③ モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

電気電子システム工学科

- ① ロボット制御技術,エネルギー技術,情報通信技術に興味があり,将来,その技術者として 社会に貢献したい人
- ② 電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
- ③ 電気・電子・情報について学んだ知識を応用して, 自分のアイデアを形にしたい人
- ④ 電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これ らの産業を活性化したいと考えている人

化学・バイオ工学科

- ① 化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会 に貢献したい人
- ② 地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
- ③ 学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人

都市システム工学科

- ① 自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
- ② 道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
- ③ 災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人

ビジネスコミュニケーション学科

- ① 社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
- ② 外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
- ③ 情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
- ④ 地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人

3 募集人員および編入学年次

学科	募集人員	編入学年次
機械システム工学科		
電気電子システム工学科		
化学・バイオ工学科	各若干名	第4学年
都市システム工学科		
ビジネスコミュニケーション学科		

4 願書受付

(1) 受付期間

令和2年7月31日(金)~8月4日(火) (郵送の場合は8月4日(火) 16時必着とします。)

(2) 受付時間 9時~16時

(3) 受付場所 福島工業高等専門学校 学生課入試係

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721

5 検査期日等

(1) 検査期日 令和2年9月1日(火)

(2) 検査会場 福島工業高等専門学校

6 合格者発表

(1) 日 時 令和2年9月4日(金)

(2) 方 法 合格者の受検番号を本校に掲示します。なお、合格者本人および出身 (在籍) 学校長には、合格者名等を文書で通知します。また、本校ホームページにも掲載します。電話等による問い合わせはご遠慮ください。

7 「入学確約書」の提出

合格者の入学意思確認等のため、「入学確約書」を下記期日までに提出してください。 令和2年10月16日(金)

8 出願資格等

平成30年度編入学者選抜から,各学科毎に試験実施内容・出願資格が大幅に変更されました。 つきましては、志望学科の各項目をよく確認して出願をしてください。

8.1 出願資格

【機械システム工学科】

次の(1)~(3)に該当し、在籍高等学校長が人物・学力ともに優秀であると認めて推薦する者で、合格後、入学を確約できる者とします。

- (1) 高等学校、中等教育学校の専門教育を主とする学科を令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 以下の条件を全て満たす者
 - ① 第1学年から第3学年1学期までの全科目の評定平均が5段階評価で4.5以上である者
 - ② 学科 (クラス) 内席次が上位10%以内である者
 - ③ 第2学年および第3学年第1学期において、各科目の評定に1または2がない者
- (3) 高等学校の機械科,電子機械科,機械システム科およびこれに準ずる学科に在籍の者

【電気電子システム工学科】

次の(1)と(2)に該当し、在籍高等学校長が人物・学力ともに優秀であると認めて推薦する者で、合格後、入学を確約できる者とします。

また、高等学校の所属学科は問いません。

- (1) 高等学校、中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 以下の条件を全て満たす者
 - ① 第1学年から第3学年1学期までの全科目の評定平均が5段階評価で4.5以上である者
 - ② 学科(クラス)内席次が上位10%以内である者
 - ③ 第2学年および第3学年第1学期において、各科目の評定に1または2がない者

【化学・バイオ工学科】 【都市システム工学科】

次の(1)~(3)のいずれかに該当する者とします。なお,(1)に該当するものは第 2 学年および第 3 学年第 1 学期において,各科目の評定に 1 または 2 がない者とします。 また、高等学校の所属学科は問いません。

- (1) 高等学校、中等教育学校を卒業した者または令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者

【ビジネスコミュニケーション学科】

次の(1)~(3)のいずれかに該当し、かつ(4)の条件を満たす者とします。

なお、(1)に該当するものは第2学年および第3学年第1学期において、各科目の評定に1または2がない者とします。

また. 高等学校の所属学科は問いません。

- (1) 高等学校、中等教育学校を卒業した者または令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者
- (4) ア. 日商簿記2級以上、イ. 英検準1級以上またはTOEIС600点以上、
 - ウ. 数検2級以上, エ. 基本情報技術者試験合格以上(ITパスポート試験は不可)ア~エのうちいずれかの資格を所持している者

8.2 出願書類等【全学科共通】

(1) 出願書類等

志願者は、次の書類のうち、「(2)学科別提出必要書類」に定める必要な書類等をとりまとめて提出してください。提出の際、機械システム工学科と電気電子システム工学科に出願する受検生は在籍学校長を経て提出してください。

なお,書類を郵送する場合は,封筒の表に**「編入学者選抜願書在中」**と記載し,簡易書留郵便としてください。

1	編入学者選抜願書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
2	受 検 票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
3	検 定 料 納 入 書 (16,500円)	本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振り込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、ATM(現金自動預払機)、携帯電話およびパソコン等からの振り込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は9頁「検定料振り込みについての注意」をご覧ください)。また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。・検定料を納付したが出願しなかった場合・検定料を誤って二重に払い込んだ場合
4	写 真 票	本校所定の用紙に3ケ月以内に撮影した上半身,正面脱帽の 写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し,所定の事項を記入したもの。
(5)	返信用封筒(受検票送付用)	志願者の住所・氏名を記入し、374円切手(速達郵便分)を貼付した もの。(出願書類を持参する場合は不要です。)
6	調査書	出身(在籍)学校所定の用紙に出身(在籍)学校長が記載したもの。
7	卒業証明書または 卒業見込証明書	出身(在籍)学校所定の用紙に出身(在籍)学校長が記載したもの。
8	高等学校卒業程度認定試験 合格証明書および 合格成績証明書	文部科学大臣が証明したもの。
9	推 薦 書 (機械システム工学科・ 電気電子システム工学 科出願者は必要)	本校所定の用紙に在籍学校長が記載したもの。
10	資格に関する証明 書等 (ビジネスコミュニケー ション学科出願者は 必要)	ア. 日商簿記2級以上, イ. 英検準1級以上またはTOEIC600点以上, ウ. 数検2級以上, エ. 基本情報技術者試験合格以上(ITパスポート 試験は不可)のいずれかの資格の原本及び写しを提出してください。 原本は確認後返却します。

(2) 学科別提出必要書類

【機械システム工学科】【電気電子システム工学科】(注)在籍学校長を経て提出してください。

出 願 資 格	提出書類
① 高等学校卒業見込者	(1)の「出願書類等」の ①~⑦, ⑨

【化学・バイオ工学科】【都市システム工学科】

出 願 資 格	提出書類
① 高等学校卒業または卒業見込者	(1)の「出願書類等」の ①~⑦
② 高等学校卒業程度認定試験合格者	" (1)~(5), (8)
③ 外国で12年の課程修了者	" ①~⑤, ⑦

【ビジネスコミュニケーション学科】

出 願 資 格	提出書類
① 高等学校卒業または卒業見込者	(1)の 「出願書類等」の ①~⑦, ⑩
② 高等学校卒業程度認定試験合格者	" (1)~(5), (8), (10)
③ 外国で12年の課程修了者	

8.3 検査の内容, 時間および出題範囲等

検査等の内容および時間

志望学科により、検査内容および検査等の時間が異なります。 詳しくは下記を参照してください。

【機械システム工学科】

◎検査内容と開始時間:①面接(口頭試問を含む)

(一人30分程度) 9:00~

【電気電子システム工学科】

◎検査内容と開始時間:①筆記試験(専門科目) 9:00~9:50

②面接(一人20分程度) 10:10~

◎筆記試験の詳細内容

科目名		出	題	範	<u> </u>
専 門 科 目	① 電気数学	2	直流回路		③ 電流と磁気
(電気理論)	④ 電磁誘導	(5)	静電気		⑥ 交流回路

【化学・バイオ工学科】

◎検査内容と開始時間:①筆記試験(英語) 9:00~10:10

②筆記試験(数学) 10:30~12:00 ③筆記試験(専門科目) 13:00~14:30

④面接(一人10分程度) 14:50~

◎筆記試験の詳細内容

科	目 名			出	題	範	囲			
英	盂	コミュニク					全	範	囲	
数	学	数 数 数	学 学 学	I A II			全	範	囲	
		数	学	В			数列	・ベク	トル	
専 門 (化学基	引 科 目 基礎・化学)			化学基	礎・化	化学の2	全範囲			

【都市システム工学科】

◎検査内容と開始時間:①筆記試験(英語) 9:00~10:10

②筆記試験(数学) 10:30~12:00 ③筆記試験(専門科目) 13:00~14:30

④面接(一人10分程度) 14:50~

◎筆記試験の詳細内容

科	目 名	出 題 範 囲
英	語	コミュニケーション英語 I 全範囲
		コミュニケーション英語Ⅱ
		数 学 I
数	学	数 学 A 全 範 囲
女人	4	数 学 Ⅱ
		数 学 B 数列・ベクトル
専門	科目	① 力のつりあい ② 部材断面の性質
等 「T M 日 日 (構造力学)		③ 静定ばり(反力,内力,影響線,曲げ応力)
(117%	=>3 1 /	④ 柱 ⑤ トラス

【ビジネスコミュニケーション学科】

◎検査内容と開始時間:① 筆記試験(専門科目) 9:00~10:30

② 面接(口頭試問を含む)

(一人30分程度) 10:50~

◎筆記試験の詳細内容

科目名	出 題 範 囲
専門科目(小論文)	社会に関するテーマ (1,200 字以上 1,600 字以内)

8.4 選抜の方法

入学者の選抜は,筆記試験や面接の結果,出身(在籍)学校長から提出された調査書の内容等 を総合して行います。

8.5 注意事項

(1) 出願上の注意

- ① 出願書類受理後は、記載事項の変更はできませんのでご注意ください。 また、出願書類は返還しませんのでご注意ください。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

(2) 受検上の注意

- ① 検査当日は受検票、筆記用具を持参してください。
- ② 受検のため宿泊を必要とする場合は、各自で準備してください。
- ③ 「受検者心得」は受検票の裏面に記載していますのでご覧ください。

(3) 「推薦書」記入上の注意 (機械システム工学科・電気電子システム工学科に出願の場合)

「推薦書」における「学科(クラス)内席次」の欄には、志願者が所属する学科(クラス)全体の人数と志願者の第3学年第1学期の席次を記入してください。なお、2学期制の高等学校においては、第2学年末の席次を記入してください。

9 その他

- (1) 入学後, 本校学生寮への入寮を希望する場合は, 選考のうえ許可されることがあります。
- (2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更はできません。また、出願書類は返還できません。
- (3) 出願書類に不備のあるものは、受理できません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに入学後、次の目的以外には利用することはありません。
 - ① 学籍の管理に関する業務
 - ② 教育及び教務上で必要な業務(修学指導,学生指導,課外活動,奨学金に関すること等)
 - ③ 学生本人・保護者の皆様への連絡、各種書類の発送及びその他これに付随する業務
 - ④ 各種証明書に関する業務
 - ⑤ 健康管理に関する業務
 - ⑥ 授業料に関する業務
 - ⑦ 寮生の管理・指導に関する業務
 - ⑧ 式典及び広報活動(学校案内,定期刊行物及び本校ホームページ等)に関する業務(写真 及び映像等の情報を含む)
 - ⑨ 後援会・同窓会の入退会に関する連絡調整業務
- (6) 出願書類の請求および編入学に関する問い合わせについては、下記にご連絡ください。

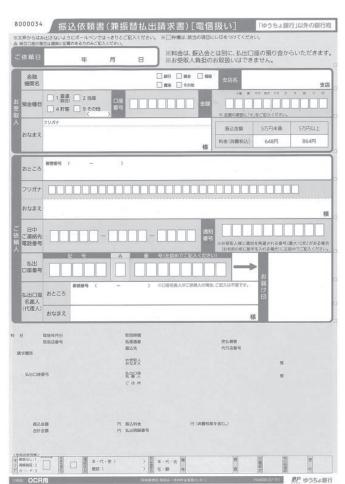
福島工業高等専門学校 学生課入試係 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30 TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742

10 検定料振り込みについての注意

検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合は次のような条件がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から検定料を振り込む場合は現金での振り込みはできず、口座からの振り込みのみ可能となっていますのでご注意ください。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。
- (2) ゆうちょ銀行から振り込む場合は、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書は使用できません。窓口で、ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を受け取り、必要事項を記入して窓口から振り込みください。振り込みの際は、振り込み先を確認しますので、本校所定の振込依頼書も持参ください。なお、振り込みにかかる手数料はご負担ください。
- (3) 振り込み後は、窓口で「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」(以下、「振込受付書」という)を受領してください。また、出願の際にはこの振込受付書を出願書類に同封してください。なお、振込受付書はコピーを取り、コピーは大切に保管してください。
- (4) 検定料の振り込みは、ゆうちょ銀行ATM (現金自動預払機) からは行わないでください。

○ゆうちょ銀行専用の振込依頼書(サンプル)



左下「ご依頼人」の「お名前」欄に記入の際は、受検者氏名の前に「HE」を付けてください。

福島高専には、「お客様控え」を 提出してください。

編入学案内

1 高等専門学校並びに本校の特色

高等専門学校は、優れた専門技術者の養成を目的として、1962年に創設された高等教育機関です。 高専制度の特色は、5年間の一貫教育により、優れた人材を育成する完成教育にあり、卒業者に は「準学士」の称号が与えられます。また、卒業後、更に高度な専門分野の勉学を志す人のために は高専事攻科への進学または大学3年次への編入学により、「学士」となる道もあります。

本校では、実践的な技術の修得を重視し、基礎となる一般科目と実験・実習を含めた専門科目を 効率よく組み合わせることにより教育効果をあげています。加えて特別活動やクラブ活動にも力を 入れ、豊かな教養と人間力の育成をめざしています。

2 本校の教育理念

本校の教育理念は次のとおりです。

- 広く豊かな教養と人間力の育成
- 科学技術の基礎的素養と創造性及び実践性の育成
- 固有才能の展開と国際的な視野及びコミュニケーション能力の育成

3 本校の学習・教育目標

本校では以下に示す学習・教育目標を設定しています。

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目-ビジネス系科目の協働(シナジー)効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) イノベーションに即応するために、情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的実践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して, グローバルなコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力 を身につける。

4 福島高専のディプロマポリシー(卒業認定方針)

本校では,以下の「養成する人材像」に示す人材を育成する教育内容を学習し,「卒業時に身につけるべき資質能力」を身に付け,所定の単位を修得し,卒業要件を満たした学生に対して卒業を認定します。

5 養成する人材像

(1) 工学系学科

- ① 十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるエンジニア
- ② イノベーションに即応するために、問題解決のみならず課題探究できるエンジニア
- ③ モノづくりと環境保全の調和に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できるエンジニア
- ④ グローバルなコミュニケーション能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的エンジニア

(2) ビジネス系学科

- (1) 自己実現ができるビジネス・スペシャリスト
- ② グローバルなコミュニケーション能力を有するビジネス・スペシャリスト
- ③ 論理的思考に優れたビジネス・スペシャリスト
- ④ 長期的な視野をもち、持続可能な社会の実現に貢献するビジネス・スペシャリスト

<準学士課程(本科)の各学科で養成する人材像>

【機械システム工学科】

機械工学の専門知識を持って他分野の技術も取り入れることで、高度化するシステムに対処し、 常に発展する新しいモノづくりを担うことができる機械技術者の育成

【電気電子システム工学科】

電気・電子・情報の技術を応用することでシステムを構築し、産業界の多様な問題を解決できるクリエイティブな技術者の育成

【化学・バイオ工学科】

持続可能な社会を実現するために、物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、生物化学、化 学工学などの専門分野の基礎知識を身につけ、化学製品、材料、食品など物質生産の分野におい て幅広く活躍できる化学技術者の育成

【都市システム工学科】

持続可能な建設技術を基礎に、社会基盤施設の維持・管理分野や自然災害に対する防災・減災 分野で活躍できるシビルエンジニアの育成

【ビジネスコミュニケーション学科】

社会に対して広く関心を持ち、進展するグローバル化に対応できるリテラシー (語学や情報など)を身につけるとともに、環境問題に配慮し持続可能な社会に貢献できる人材の育成

6 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力

準学士課程

- (1) 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性
- (2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力
- (3) 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力
- (4) 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力
- (5) モノづくりやデザインの実践力
- (6) 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力

7 福島高専カリキュラムポリシー(教育課程編成方針)

本校では,「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため,次のような教育課程の編成方針,および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

○編成方針

- (1) 準学士課程においては、くさび型※の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身に付けるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。
- ※くさび型の教育課程:低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目 を多く配置する教育課程
- (2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、および専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。
- (3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

○成績評価基準

- (1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平素の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。
- (2) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。
- (3) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

○準学士課程 学科ごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各学科では、以下の科目群を系統的に編成する。

【機械システム工学科】

- (1) 低学年における科目:数学,物理,化学などの理系教養科目,英語,国語,歴史などの文系 教養科目,および情報リテラシー基礎科目
- (2) 機械工学の基礎科目:材料力学,機械力学,熱力学,水力学,材料学,制御工学,機械工作法,機構学を基盤とした専門科目群
- (3) 技術習得に関する科目:モノづくり実習,工学実験,設計製図などの実技科目
- (4) 課題探究能力育成科目:創作演習,工学セミナー,卒業研究などの問題解決能力,応用力,チームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (5) 機械工学に関連する専門科目:電気工学基礎, 知的財産権, 環境工学などの, 他分野の科目

【電気電子システム工学科】

- (1) 低学年における科目:数学,物理,化学などの理系教養科目,英語,国語,歴史などの文系 教養科目,および情報リテラシー基礎科目
- (2) 電気,電子工学の基礎専門科目:電気磁気学,電気回路,電子回路,電気工学,電子工学,情報工学を基盤とした専門科目群
- (3) 技術習得に関する科目:電気電子工学実験などの実技科目
- (4) 課題探究能力育成科目:創作実習,卒業研究などの問題解決能力,応用力,チームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (5) 電気,電子工学に関連する専門科目:機械工学概論,知的財産権,環境工学などの,他分野の科目

【化学・バイオ工学科】

- (1) 低学年における科目:数学,物理,化学などの理系教養科目,英語,国語,歴史などの文系教養科目,および情報リテラシー基礎科目
- (2) 応用化学分野の基礎科目:物理化学,無機化学,分析化学,有機化学,生物化学,化学工学を基盤とした専門科目群
- (3) 技術習得に関する科目:化学・バイオ工学実験などの実技科目
- (4) 課題探究能力育成科目:創造実験実習,卒業研究などの問題解決能力,応用力,チームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (5) 応用化学分野に関連する専門科目:機械工学概論,電子工学概論,知的財産権などの,他分野の科目

【都市システム工学科】

- (1) 低学年における科目:数学,物理,化学などの理系教養科目,英語,国語,歴史などの文系 教養科目,および情報リテラシー基礎科目
- (2) 土木工学の基礎科目:構造,水理,地盤,材料,施工,環境,計画を基盤とした専門科目群
- (3) 技術習得に関する科目:製図法,測量実習, CAD, 工学実験・演習などの実技科目
- (4) 課題探究能力育成科目:シビックデザイン演習,工学セミナー,卒業研究などの問題解決能力,応用力,チームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (5) 土木工学に関連する専門科目:機械・電子工学概論,知的財産権,廃炉・原子力などの,他 分野の科目

【ビジネスコミュニケーション学科】

- (1) 低学年における科目:数学,物理,化学などの理系教養科目,英語,国語,歴史などの文系教養科目,および情報リテラシー基礎科目
- (2) 以下の諸分野を横断する幅広い社会科学の専門科目
 - ①人文系:歴史という縦軸と社会という横軸から現代社会を理解するための幅広い専門科目群
 - ②数理系:微積分などの基礎数学と統計などの応用数学についてのたしかな学力を身につける ための専門科目群
 - ③語学系:文化的な背景までを含めたたしかな語学力と、研究・ビジネスなどの分野における 応用力を養うための専門科目群
 - ④経営系:経営学を中心に、組織や人間関係に関する知識を涵養するための専門科目群
 - ⑤経済系:ミクロ経済・マクロ経済などの経済理論を中心にした専門科目群
 - ⑥情報系:プログラミングや情報リテラシーなどを高いレベルで習得するための専門科目群
 - ⑦会計系:社会経済の多方面における人間の諸活動に大きな影響を与えている会計学について の知識と応用力を身につけるための専門科目群
- (3) 主体的に問題を探究し、研究を遂行する能力を涵養する科目:卒業研究など、主体的な問題意識にもとづいて研究を遂行する能力を養うための専門科目群

8 修業年限

第4. 第5学年の2ヶ年

9 教育課程

授業科目には履修単位科目と学修単位科目(単位数に*のついているもの)があります。履 修単位科目は、30単位時間(1単位時間は標準50分)の履修をもって1単位とします。

学修単位科目は 45 時間 (1単位時間は標準 50分) の学修で1単位としますが、学校での授業は 15 時間から 45 時間の範囲で行います。その範囲外については、自学自習で対応します。

【一般科目】

機械システム工学科、電気電子システム工学科、化学・バイオ工学科、都市システム工学科共通

		42	Œ	業	£)l		□			学年配金	当単位数	備	考
		授	Ź.	業科目			4	5	1)H	5			
必	外	国	1	語	英		語		IV	4*			
修	人	文	社	会	技	術	者	倫	理		1		
科口	保	健	体	育	体				育	2			
目	開	i	設	耳	<u>á</u>	位	小	`	計	6	1		
	外	国	1	語	英		語		V		2		
	国			語	日	本	語表	現	法	1			
選					経	済	学	基	礎	1			
択	人	文	社	会	法	学	<u> </u>	表	礎	1			
科目					産	業	経	済	史		1		
	グ		i	_	バ)]	ν i	研	修	()	1)		
	開	i	設	耳	<u>á</u>	位	小	`	計	3(1)	3(1)		
開		設		単	1	<u>T</u>	合		計	9(1)	4(1)		
修	得	}	可	,	能	単	乜	Ĺ	数	9(1)	4(1)		_

- (注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
 - ()の数字は開講期を指定しない単位で外数

【一般科目】

ビジネスコミュニケーション学科

		477	भार	T.V.					学年配当	当単位数	/# ±×
		授業科目			4	5	備考				
	英		語	英		語		IV	4*		
必				法				学	2		
修 科	人	文 社	会	3	クロ	経	済	学	2		
目				技	術	者(倫	理		1	
	保	健 体	育	体				育	2		
	開	設	阜	色	位	小		計	10	1	
	英		語	英	語	特	論	Π	2		
			пп .	英		語		V		2	
選				日	本 請	吾 特	論	ìΙ	1		
択	日	本	語	文				学	1		
科口				日	本 請	哲 特	論	iⅡ		1	
目	人	文 社	会	産	業	経	斉	史		1	
	グ	П	_	バ	ル	研		修	()	1)	
	開	設	単	<u> </u>	位	小		計	4(1)	4(1)	
開		設	単	位	Ĺ	合		計	14(1)	5(1)	
修	得] 可		能	単	位		数	14(1)	5(1)	

- (注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
 - ()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目(機械システム工学科)

100	NIC CY -	学年配		NII III
授	業 科 目	4	5	- 備 考
設	計 製 図 Ⅱ	2*		
応	用 設 計 製 図		3*	
創	作 演 習	2*		⇒他学科連携科目
工	学 実 験	3*	3*	
工	学セミナー	2		
卒	業研究		9	
必確	率 · 統 計	1		
数	理解析学I	2		
修応	用 物 理 II	2		
材	料 力 学 Ⅱ	1		
熱	力 学	2		
科水	力 学	2		
機	械 力 学 I	1		
目環	境 工 学	1*		
口	ボット基礎	2		
校	外 実 習		1)	
数	理解析学Ⅱ		2*	
伝	熱 工 学		2	
制	御工学		2	
知	的 財 産 権		1	
開	設 単 位 小 計	23 (1)	22 (1)	
情	報 処 理 演 習	2*		
工	業英語	1*		
С	A D , C A M	1*		
メ	カトロニクス	1*		
経	営 学 概 論	1		
生	産工学		1*	
口	ボット工学		1*	
計	測 工 学		1*	
選材	料 強 度 学		1*	
塑	性 加 工 学		1*	
択機			1*	
流			1*	
科 工	ネルギーエ学		1*	
エ	ネルギー機械	1	1*	
3/	ーケンス制御		1*	⇒他学科連携科目
	ボット制御工学	1	1*	⇒他学科連携科目
情	報工学特講		1*	集中講義
	射線管理学概論		1*	
	・エネルギー工学概論		1*	集中講義
防	災 学		1*	
廃		1		集中講義
	・ 演習 ・ 演習 ・ ・ 第 1 で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1		集中講義
原	子 力 事 故 総 論	1	1	集中講義
開	設 単 位 小 計	8	16	
	開設単位合計	31 (1)	38 (1)	
専門科目	修得可能単位数	31 (1)	38 (1)	1
	開設単位合計	9(1)	4(1)	
一般科目	修得可能単位数	9(1)	4(1)	1
	開設単位合計	40 (1)	42 (1)	+
合 計				-
	修得可能単位数	40 (1)	42 (1)	<u> </u>

⁽注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位) ()の数字は開講期が4~5年の単位で外数

専門科目(電気電子システム工学科)

		学年配	当単位数	
		4	5	// // // // // // // // // // // // //
	◎ 電気電子システム工学実験	3*	2*	
	◎ 電 気 回 路 Ⅱ	1*		⇒他学科連携科目
	創 作 実 習	2*		
	◎ 電 気 機 器 Ⅱ	2		
	○ 電 子 回 路 Ⅱ	2*		
	◎ 電 気 磁 気 学 Ⅱ	2		
	電子回路設計	1		
必	○ 電 子 工 学 I	2*		
	◎ 制 御 工 学	2		
修	工学セミナー	1		
	応用物理Ⅱ	2		
T)	数 理 解 析 学 I	2		
科	確率・統計	1		
	工 業 英 語 I	1*		
目	◎ パワーエレクトロニクス	1*		
	○電気電子材料工学	2		
Ī	知 的 財 産 権	()	1)	
Ī	校 外 実 習	()	1)	
ļ	卒 業 研 究		8	
	○ 電 力 工 学		2	
	◎電カシステム工学		2*	
	○電子工学II		1*	
	工 業 英 語 Ⅱ		1*	
	数 理 解 析 学 Ⅱ		2*	
	開設単位小計	27 (2)	18 (2)	
		2*		
	ディジタル回路Ⅱ	1		
	通信工学Ⅰ	1		
		1		集中講義
	環境安全学・演習	1		集中講義
	○ 高 電 圧 工 学	()	1)	
	電力情報		1)	
	電力経営	()	1)	
選	○ 電 気 法 規		1)	
	シーケンス制御	()	1)	⇒他学科連携科目
択	ロボット制御工学		1)	⇒他学科連携科目
ļ	放射線管理学概論		1)	
科	環境・エネルギー工学概論		1)	集中講義
• •	防災学		1)	
目	経営学概論		1)	
ㅂ	機械工学概論		2)	
ļ	基礎生物学		2)	
ļ	環境工学		1)	
ļ	コンピュータネットワーク	,	1*	
ļ	通 信 工 学 Ⅱ		1*	
Ţ	○計算機工学		2	
İ	原子力事故総論		1	集中講義
İ	開設単位小計	6 (15)	5 (15)	
	盟 塾 畄 位 仝 卦	33 (17)	23 (17)	
専門	月科目 修 得 可 能 単 位 数	33 (17)	23 (17)	1
	盟設単位合計	9 (1)	4(1)	<u> </u>
一般	股科目 修 得 可 能 単 位 数	9(1)	4(1)	1
	開設単位合計			
合		42 (18)	27 (17)	-
	□□□ 修 得 可 能 単 位 数 □□は第2種電気主任技術者資格取得の2	42 (18)	27 (17)	1

⁽注) ◎印は第2種電気主任技術者資格取得のための必修得科目,○印は関係科目 *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位) ()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目(化学・バイオ工学科)

		学年配当	当単位数	m. t.
授	業 科 目	4	5	☆
化学。	・バイオ工学基礎実験Ⅱ	2		
	バイオ工学実験	2		
	・バイオ工学セミナー	1		
卒	業研究		9	
物	理化学I	2		
無	機化学I	2		
必有	機 化 学 I 物 化 学 I	2		
生	物化学I	2		
修化	学 工 学 I	2		
機	器 分 析	2		
高	分 子 化 学	2		
科微	生 物 工 学	2		
環	境 化 学 I	2		
目工	業 英 語 Ⅱ	1		
	紫物 有機 化学		2*	
情	報 処 理 Ⅱ	1		
確	率 · 統 計	1		
	理解析学I	1	_	
	理解析学Ⅱ		1	
	設 単 位 小 計	27	12	
応	用 物 理 Ⅱ	2		
校	外 実 習	()	1)	
材	料 化 学		2*	
有	機 化 学 II		2*	
#	機化学Ⅱ		2*	
物	理化学Ⅱ		2* 2*	
物	理 化 学 Ⅲ 学 工 学 Ⅱ		2*	
化化学			1	
生	・ プロセス概論 物化学Ⅱ		2*	
選 分			2*	
B ガー バイ	<u> </u>		1*	
7四			2*	
択 環 環			2*	
			2*	
科食	加 貝 伽 L 子 品 化 学		2*	<u> </u>
			1	
	-		1	
経	営 学 概 論	1	1	
知	的 財 産 権	_	1	
	報工学特講		1*	集中講義
放射			1*	
	・エネルギー工学概論		1*	集中講義
防	災 学		1	717 7 111707
廃	炉 工 学	1		集中講義
環境		1		集中講義
	子 力 事 故 総 論		1	集中講義
	設 単 位 小 計	5 (1)	34 (1)	
'	開設単位合計	32 (1)	46 (1)	
専門科目	修得可能単位数	32 (1)	46 (1)	1
	開設単位合計	9 (1)	4(1)	
一般科目	修得可能単位数	9 (1)	4(1)	1
	開設単位合計	41 (1)	50 (1)	
合 計	修得可能単位数	41 (1)	50 (1)	1
(33.)	修 侍 凡 庇 卑 位 数 修 侍 凡 庇 卑 位 数 			

⁽注) * 印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位) ()の数字は開講期が4~5年の単位で外数

専門科目(都市システム工学科)

			学年配当		
	授	業 科 目	4	5	一 備 考
	Г	. 学 実 験・演 習	2*	2*	<u> </u>
	材		1	2	
	確		1		
	数数		2		
			<u> </u>	2*	
		『市システムの情報処理Ⅱ	2	Ζ΄	
		造のシビックデザインⅢ	2		
		ビックデザイン演習Ⅲ	1		
	橋		1		
		ンクリート構造工学	2*		
	地		2		
必	水		2*		
	水		1*		
ls/st	地		2*		
修	<u>></u>		1		
	施			1	
科	技		1		
	1		(1)	
		√ビックデザイン演習Ⅳ		1*	
目目	卒	業 研 究		9	
	数	理解析学Ⅱ		2*	
	応	用 地 盤 工 学		1	
	環			1*	
	水			1*	
	交			1	
		持・管理工学基礎		1	防災・減災系列は選択科目
		ンクリート構造設計演習		1	防災・減災系列は選択科目
	防災・水			1	都市基盤系列は選択科目
	減災防			1	都市基盤系列は選択科目
-	開		21 (1)	25 (1)	1000年 1000年
	製		2*	23 (1)	
		『市システムの情報処理 I	1		
	土		1		
			2		
			1*		
			1		
	経			1	佐 上 □ ★ ★
選	現		(.	1)	集中講義
	地			1	
+=	技			1	
択	輸		_	1*	
	道		1	_	
科	知			1	H- 1 - 746 A6
	情			1*	集中講義
	機			1	
	電			1	
	放			1*	
		境・エネルギー工学概論		1*	集中講義
	廃		1		集中講義
	環		1		集中講義
	原			1	集中講義
	開] 設 単 位 小 計	11(1)	10 (1)	
J	n 44	開設単位合計	32 (2)	35 (2)	
専『	門科目	修得可能単位数	32 (2)	35 (2)	1
		開設単位合計	9(1)	4(1)	
— 舟	设 科 目				-
L		修得可能単位数	9 (1)	4(1)	
合	計	開設単位合計	41 (3)	39 (3)	_
		修得可能単位数	41 (3)	39 (3)	
(注)		送 单位 (高等 車門 学校 設置 基 進 第			•

⁽注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)

^()の数字は開講期が4~5年の単位で外数

専門科目(ビジネスコミュニケーション学科)

投 素 科 日 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で			学 任祀		
世 ミ ナー		授 業 科 目			一 備 考
と 1		+ 3 + - I			
A c a d e m i c Re a d i n g					
Business English Basics 1	心				
## Business English Basics 1	2	Business English Basics I			
申 マ ク ロ 経 済 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1		
情報 処理 基礎 1	修	マクロ経済Ⅰ	1		
情報 処 理 演 習 1					
情報 処理 演 音	科				
日					
中の			(
開 鼓 単 位 小 計 11(1) 12(1) 開 発 学 I 2* 開発 学 I 2* 開発 学 I 2* 開発 学 I 2* 原 価 計 算 2* 環 境 科 学 I 現 代 社 会 特 論 II 2* 線 形 代 数 2*					
開発学 I 2°			11/1		
開 発 学 Ⅱ 2°				12(1)	
原価計算 2* 現代社会特論 II 2* 銀 代社会特論 II 2* 経 形代 数 2* 経 管 学 2* 2 者択- を 情報システム I 2* 数 理 統 計 II (2)* 非言語コミュニケーション I 2 者択- 正 月 数 学 論 (2)* 現代社会と文化 2* Research in English I 2* 経 営 戦 略 論 2* 経 営 戦 略 論 2* 経 営 戦 略 論 2* 経 営 戦 略 論 2* 日 報システム II 2* 「情報システム II 2* 「日報システム II 2* 「日報システム II 2* 「日報・日本 II 2* 「日本 II 3* 「日本 I		III III<	2*		
原 価 計 算 2° 現 代 社 会 特 論 Ⅱ 2° 線 形 代 数 2° 経 管 学 2°		M	2*		
環境科学 1 現代社会特論 II 2° 2* 2* 2* 2* 4* 2* 4* 4* 6* 1* 1* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 1* 2* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 1* 2* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 1* 2* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 4* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 4* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 4* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 4* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 4* 2* 2* 4* 7* 8* 8* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 1* 4* 4* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1*		原備計質	2*		
現代社会特論 II 2° 2 2 者択一 経経 営 学 2° 2 2 者択一 接接 営 学 2° 2 3 者択一 数 理統 計 II (2)° 2 者択一 元 用 数 学 論 (2)° 2 者択一 元 用 数 学 論 (2)° 2 者択一 元 用 数 学 論 (2)° 2 者択一 元 用 数 学 論 (2)° 2 者択一 元 元 日 2° 2 者択一 元 元 日 2° 2 者択一 元 元 日 2° 2 4 択一 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元		環境科学			
線 形 代数 2° 2° 2 4 1		現代社会特論Ⅱ	2*		2 47.40
経 営 学 2°		線 形 代 数	2*		- 2 省状一
情報システム 2* 2者択一 2 者択一 2 表状一 2		経 営 学	2*		2.李扣
#言語コミュニケーション 1 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一		情報システムⅠ			2.45八一
F		数 理 統 計 Ⅱ		2)*	2 孝垠一
現代社会と文化 2° 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一 2者択一					4 11 1八
現 代 任 受 と X 化 と で				2)*	┃ 18投一
選 機 職 論 2° 2 音和 2 音和 接 性 性 性 性 性 性 性 性 性					2 11/
機					- 2者択一
情報システム演習 1	\dd				- 2 者択一
大 性 労 働 史	選		2*	2*	
現文化コミュニケーション 1 2者状 2者状 1 2者状 2 表状 2者状 2 表状				2*	
国 際 経 営 論 2* 2者択一 目 目 原 経 済 学 2* 2者択一 目 目 原 経 済 学 2* 2者択一 目 原 経 済 学 2* 2者択一 目 環 境 経 済 学 2* 2者択一 日 環 境 経 済 学 2* 2者択一 日 原 祭 五 元 元 元 元 元 元 元 元 元	択			1	│ 2者択一
Intercultural Communication	"			2*	
国際 経済 学 2* 2者択一 日 日 日 日 日 日 日 日 日	±ΛI				 2
Business English Practice 1 2	科				0 44 141
日 環境 経 済 学 Business Case Studies 会					7 2 有朳一
Business Case Studies 2 afx 2 a	目	環 境 経 済 学		2*	2. 孝切二
情報システム演習I 2* 24 共生システム論 2* 2者択一 Business English PracticeII 1 2 国際金融論 2* 2者択一 Business Negotiation 1 1 知的財産権 1 1* 情報工学特講 1* 集中講義 放射線管理学概論 1* 集中講義 防災通信工学 1* 集中講義 環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 集中講義 原子炉事故総論 1 集中講義 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 原子可能単位合計 54(6) 47(6)					4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
頂報 システム論 2* 出 生 システム論 2* Business English Practice II 1 国際金融論 2* Business Negotiation 1 知 的 財 產 権 1 情報 工 学 特 講 1* 放射線管理学概論 1* 環境・エネルギー工学概論 1* 防災通信工学 1* 廃 炉 工 学 1 集中講義 環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) (6) 47(6)		会 計 理 論		2*	 2考択一
Business English Practice II 1 2者状ー 国際金融論 2* 2者状ー Business Negotiation 1 知的財產權 1 情報工学特講 1* 集中講義 放射線管理学概論 1* 環境・エネルギー工学概論 1* 集中講義 防災通信工学 1 集中講義 原子炉工学 1 集中講義 原子炉事故総論 1 1 開設単位合計 40(5) 42(5) 日間設単位合計 40(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) (6) 明設単位合計 54(6) 47(6)					2 0 1/2
Business English Practice 1 2* 2 2 2 2 2 2 2 2					→ 2者択一
Business Negotiation 1 知 的 財 產 権 1 情報工学特講 1* 集中講義 放射線管理学概論 1* 集中講義 環境・エネルギー工学概論 1* 集中講義 防災通信工学 1* 集中講義 環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 開設単位小計 29(4) 30(4) 専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) (6得可能単位数 14(1) 5(1) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)					
知 的 財 産 権					- 2 者択一
情報 工学特講 放射線管理学概論 1* 環境・エネルギー工学概論 1* 防災通信工学 1* 廃炉工学 1 環境安全学・演習 1 原子炉事故総論 1 開設単位小計 29(4) 事門科目 開設単位合計 イの(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) (6) 日報 47(6)					
放射線管理学概論 1* 環境・エネルギー工学概論 1* 防災通信工学 1* 廃炉工学 1 環境安全学・演習 1 原子炉事故総論 1 開設単位小計 29(4) 事門科目 開設単位合計 (修得可能単位数 30(5) (多得可能単位数 34(5) 日期設単位合計 14(1) (修得可能単位数 14(1) (多得可能単位数 14(1) (多得可能単位数 14(1) (多得可能単位数 14(1) (多得可能単位数 14(1) (多得可能単位数 14(1) (日本)					集中
環境・エネルギー工学概論 1* 集中講義 防災通信工学 1 集中講義 廃炉工学 1 集中講義 環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 開設単位小計 29(4) 30(4) 専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 原 計 14(1) 5(1) 原 計 14(1) 5(1) 日 財設単位合計 54(6) 47(6)		放射線管理学概論			\(\triangle \)
防災 通信 工 学 1 集中講義 廃 炉 工 学 1 集中講義 環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 1 開設単位小計 29(4) 30(4) 専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 企 計 開設単位合計 54(6) 47(6)		環境・エネルギー工学概論			集中講義
廃 炉 工 学 1 集中講義 環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 開設単位小計 29(4) 30(4) 専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 食用飲単位合計 54(6) 47(6)					212 FII4 428
環境安全学・演習 1 集中講義 原子炉事故総論 1 開設単位小計 29(4) 30(4) 専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 原 得可能単位数 14(1) 5(1) 原 得可能単位数 14(1) 47(6)		廃 炉 工 学	1		集中講義
財務 財務 単位 小計 29(4) 30(4) 専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 会計 開設単位合計 54(6) 47(6)		環境安全学・演習			
専門科目 開設単位合計 40(5) 42(5) 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 合計 開設単位合計 54(6) 47(6)				1	
停行科目 修得可能単位数 30(5) 34(5) 一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 合計 開設単位合計 54(6) 47(6)				30 (4)	
停得可能単位数 30 (5) 34 (5) 一般科目 開設単位合計 14 (1) 5 (1) 修得可能単位数 14 (1) 5 (1) 合計 開設単位合計 54 (6) 47 (6)		開設単位合計	40 (5)	42 (5)	
一般科目 開設単位合計 14(1) 5(1) 修得可能単位数 14(1) 5(1) 魚 計 即設単位合計 54(6) 47(6)		34 87 0			
一般科目 修 得 可 能 単 位 数 14 (1) 5 (1) ☆ 計 開 設 単 位 合 計 54 (6) 47 (6)		盟 設 単 位 合 計			1
	<u> </u>				
					-
	合	===			4
(注) **ロル学校単位(古笠市田学伝乳栗甘淮笠17久川で甘べ2単位)		修 停 可 能 単 位 数			

⁽注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)

^()の数字は開講期が4~5年の単位で外数

10 学生生活

(1) 学生会

学生会は学校の指導のもとに、学生の自発的な活動を通して、その人間形成を助長し、本校の教育目的達成に資することを目的として、次の目標を掲げ活動しています。

- ・学生生活を豊かで楽しく規律正しいものにし、よい校風をつくる。
- ・健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図る。
- ・心身の健康を助長し、余暇を有効に活用する姿勢を身につける。
- ・集団の活動に積極的に参加することで、自主性を育てるとともに協調性を養う。
- ・学校生活において、自治的態度を養うとともに公民としての資質を向上させる。

(2) 部・サークル

前記目標達成のため、本校では課外活動を大いに奨励しており、学生会事務局の下に次の部・サークルがあります。熱心な活動の成果として各種大会・コンクール・コンテスト等で大いに活躍しており、毎年開催される全国高専体育大会にも大勢の選手を派遣しています。

- ·文化部……写真部,無線通信部,吹奏楽部,美術部,将棋部,茶華道部,演劇部,天文部
- ・体育部……陸上競技部,バスケットボール部,バレーボール部,ソフトテニス部,テニス 部,卓球部,柔道部,剣道部,サッカー部,硬式野球部,水泳部,山岳部,空手 道部,サイクリング部,ラグビー部,バドミントン部,弓道部,ストリートダン ス部
- ・研究部……ロボット技術研究会,エネルギー研究会,ソフトウェア研究会,都市デザイン研究会,ESS&ESD研究会
- ・サークル…分子生物学愛好会,ディベートサークル

11 学校行事

- 1年間の主な学校行事は次のとおりです。
 - 4月……入学式,始業式
 - 5月……後援会定期総会および学級懇談会
 - 6月……前期中間試験、学級委員長との懇談会
 - 7月……東北地区高専体育大会, 前期期末試験
 - 8月……前期期末試験,全国高専体育大会,4年生校外実習,夏季休業
 - 9月……夏季休業,編入学試験,校内体育大会
 - 10月……保護者個別面談会、高専ロボコン東北大会、全国高専プログラミングコンテスト
 - 11月……高専ロボコン全国大会、磐陽祭、後期中間試験
 - 12月……後期中間試験、全国高専デザコン、冬季休業
 - 1月……入学試験(推薦)、全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
 - 2月……後期期末試験、入学試験(学力・帰国子女)、5年生卒業研究発表会
 - 3月……終業式,修了証書授与式,卒業証書授与式,学年末休業

12 学 費 等

入学年度に必要とする経費は、およそ下記のとおりです。

区分	金額	備考
入 学 料	84,600 円	
授 業 料	234,600 円	
教 科 書 代	約 40,000 円	
諸 会 費 等		
後援会費	16,000 円	入会金・会 費
課外活動助成費	15,000 円	年額
学 生 会 費	9,500 円	入会金・会 費
日本スポーツ振興センター会費	1,550円	
合 計	約 410,000 円	

13 奨学金制度

学業・人物ともにすぐれ、健康であるが、学資の支弁が困難と認められる者については、申請により日本学生支援機構(旧日本育英会)のほか戸部育英会・関育英会および市町村などからの奨学金が貸与される制度があります。さらに、東日本大震災で被災した学生を対象とした企業からの特別な奨学金もあります。

○奨学金貸与・給付学生数(日本学生支援機構奨学金:令和元年度)

学年別	項目	奨学生数	在籍者数	在籍者数に対する割合
4	年	8 人(貸与) 1 人(給付)	197人	4.6 %
5	年	2 人 (給付)	199 人	1.0 %
合	計	11人	396 人	2.7 %

奨学金の貸与額は、日本学生支援機構奨学金を例とすると、4年生から5年生に在学する者で自宅通学者は月額20,000円~45,000円、自宅外通学者で月額20,000円~51,000円となっています。

その他、地方公共団体や民間企業が行う奨学金制度もあります。

14 入学料および授業料免除制度

(1) 入学料免除

入学前1年以内に学資負担者が死亡,または風水害などの災害を受け,入学料納付が非常に 困難であるなどの場合は、入学料が免除される制度があります。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料全額または半額が免除される制度があります。

(3) 免除者数

制度	種	別	該旨	当者
入学料免除	全	額	0人	} 0人
(令和元年度)	半	額	0人	
	前期	全 額	49 人	} 71人
授業料免除	則勢	半額	22 人	
(令和元年度)	後期	全 額	50 人	} 70人
	後 朔 	半額	20 人	

15 学 生 寮

(1) 寮のあらまし

本校には学生寮(磐陽寮)が学校の敷地内にあり、原則として、低学年は2名1室、高学年は1~2名1室で入居します。他に食堂、浴場、自習室、談話室、寮監室、事務室などがあります。寮には、平日は日中事務室に事務職員が常駐し、夜間ならびに土・日祝日は寮監(教員)と警備員が宿直し、土・日祝日は警備員が日直として常駐して、寮生会長をはじめ寮生会役員の協力のもとに健康で規律ある共同生活が送れるよう配慮しています。詳しくは、学寮案内パンフレット「磐陽寮」をご覧ください。

寮の日課(平日)

7:00	起床	17:30 ~ 20:00	夕 食
7:10	朝 点 呼	17:30 ~ 21:30	入 浴
7:15 ~ 8:15	朝食	20:00 ~ 24:00	自 習
8:15	登校	22:00	門限・点呼
8:30 ~	H R ・授業	22:00 ~ 24:00まで	静 粛 自 習
12:00 ~ 12:50	昼 食	25:00	消 灯

(2) 寮 費

入寮者は次の経費を必要としますが、下宿代(二食付きで1ヶ月約65,000円)と比較すると 非常に安いといえます。

(令和2年度)

寄 宿 料	月額	800円 (個室)・700円 (2人部屋)
食 費(三食分)	月額	約32,000円 (3月を除く11ヶ月)
共 益 費	月額	約 15,200 円 (3 月を除く 11 ヶ月)
寮生会費	年額	3,000円

16 卒業生の進路

令和元年度の本校の卒業生は190名で、就職、進学等の内訳は、就職者90名、大学等進学者88名その他12名となっています。

(1) 進 学

本校は、5年間の一貫教育により、優れた人材を育成する完成教育を行っていますが、更に 高度な専門分野の勉学を志す人や学術研究者の道に進みたい人のためには、大学や高専専攻科 等への進学の道が大きく開かれています。

○福島高専の専攻科

現在,本校には産業技術システム工学専攻,ビジネスコミュニケーション学専攻からなる 専攻科が設置されています。本専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。令和元年度の卒業生190名の内43名 が本校の専攻科に進学しています。

○大学等進学

高専5年在学中(または卒業後)に編入学試験を受験し、合格者は翌年度4月に大学の3年次に編入学する制度で、国・公・私立大学の多くが高専卒業生のために門戸を開いています。

本校では、令和元年度の大学等進学者は88名であり、その多くが国立大学に進学しています。昨年度、本校の大学等への進学率は卒業生全体のおよそ50%となっています。 主な進学先は次のとおりです。

〈主な進学先〉

北海道大学	室蘭工業大学	弘 前 大 学	東 北 大 学
山 形 大 学	福島大学	茨 城 大 学	宇都宮大学
埼玉大学	千 葉 大 学	東京大学	東京農工大学
東京工業大学	お茶の水女子大学	新 潟 大 学	長岡技術科学大学
信 州 大 学	静岡大学	豊橋技術科学大学	京都工芸繊維大学
奈良女子大学	和歌山大学	九州大学	福島高専専攻科

(2) 就 職

文部科学省が令和2年2月1日現在で調査した令和元年度の就職内定率は、大学が92.3%、 短期大学が89.3%、大学等(大学、短期大学、高等専門学校)全体では92.4%になっていま す。

本校では、令和元年度には2,547の企業から求人があり、就職希望者90名に対する求人倍率は約28倍で、例年就職内定率は、100%です。

具体的な就職先は次ページをご覧ください。

〈令和元年度卒業生の進路状況()内は女子内数〉

					就		職		進	その他
 学	科	別	卒業者数	就職者	求人	求人状況		状況	学	各種学校
		/31		合 計	求 人	倍 率	県 外	県 内	者	自営業その他
14k 1=1 2	コニノ	工 24.4 1	40	20	645	22.2	17	3	18	2
機械システム工学科		上字件	(1)	(1)	045	32.3	(1)	(0)	(0)	(0)
最 /= 最 -	なっつニノ	十份到	41	20	652	32.6	17	3	19	2
电双电力	システム	4上子件	(5)	(4)	052	32.0	(4)	(0)	(1)	(0)
ルツ.	バイオ	工學到	36	14	423	30.2	8	6	21	1
164.	<i>ハ</i> イ 4 .	上子件	(21)	(10)	423	30.2	(5)	(5)	(10)	(1)
和中的	ステム	工學到	36	16	439	27.4	12	4	20	0
側加ン	人リム .	上子件	(13)	(7)	439	27.4	(6)	(1)	(6)	(0)
レジラファ	ミューケージ	いって会む	37	20	388	19.4	10	10	10	6
ビジネスコミュニケーション学科		/コノ子作	(34)	(18)	300	17.4	(8)	(10)	(9)	(6)
	<u> </u>	4	190	90	2,547	28.3	64	26	88	12
合	1 1	計	(74)	$(40) ^2$	2,347	20.3	(24)	(16)	(26)	(8)

本校卒業生の就職先(過去2年間)

【機械システム工学科】 (旧:機械工学科)

- 〈2019年度〉 アルプスアルパイン(株)、NTT東日本グループ会社、NOK(株)、花王(株)、 ANAベースメンテナンステクニクス(株)、キヤノン(株)、キヤノンモールド(株)、(株)サンフレックス永谷園 JFEスチール(株)、(株)牧野フライス製作所、住友ゴム工業(株)、DMG森精機(株)、東海旅客鉄道(株) 東レ(株)、日揮(株)、日特エンジニアリング(株)、日立化成(株)、日立建機(株)、(株)日立ビルシステム (国研)日本原子力研究開発機構
- 〈2018年度〉 アルパインマニュファクチャリング(株)、(株) Mテック、オリックス・ファシリティーズ(株)、 (株) キョウデン、(株) 小松製作所、サントリースピリッツ(株)、(株) S U B A R U、(株) タマディック、 東海旅客鉄道(株)、東京ガス(株)、東京電力ホールディングス(株)、東レ(株)、日進工具(株)、日東紡績(株)、パナソニック環境エンジニアリング(株)、(株) 日野ヒューテック、森永乳業(株)、山崎製パン(株)、 (独) 国立印刷局、(国研)日本原子力研究開発機構、(一財)日本品質保証機構

【電気電子システム工学科】 (旧:電気工学科)

- 〈2019年度〉 飯田電機工業㈱、㈱NHKテクノロジーズ、キヤノンシステムアンドサポート㈱、㈱クレハ (株)クレハ環境、コベルコソフトサービス(株)、花王(株)、CTCテクノロジー(株)、JX金属(株)、(株)資生堂 (株)タマディック、東北電力(株)、テラテクノロジー(株)、(株)ヒロエンジニアリング、ファナック(株) 富士電機(株)、富士通クラウドテクノロジーズ(株)、リンテック(株)、サンリツオートメイション(株) いわき市消防本部
- 〈2018年度〉 (株)NTTファシリティーズ中央, 荏原環境プラント(株), JXTGエネルギー(株), (株)ジェイペック, スズキ(株), スパイラルセンス(株), (株)SUBARU, ゼネラル. エレクトリック. インターナショナル. インク, ダイキン工業(株), (株)タマディック, 東北電力(株), 日研トータルソーシング(株), パナソニックシステムソリューションズジャパン(株), 日立交通テクノロジー(株), 三菱電機ビルテクノサービス(株), (株)武蔵野化学研究所, 吉野石膏(株), (独) 日本学生支援機構, 内閣府個人情報保護委員会

【化学・バイオ工学科】 (旧:物質工学科)

- 〈2019年度〉 花王㈱,㈱クレハ,サントリーホールディングス㈱,JSR㈱,JX金属㈱ 第一三共ケミカルファーマ㈱,㈱三井化学分析センター,三井金属鉱業㈱ (国研)日本原子力研究開発機構,(独)国立印刷局
- (2018年度) アステラスファーマテック(株)、オカモト(株)、花王(株)、ガゴメ(株)、(株)クレハ、三洋化成工業(株)、(株)シグマ、第一三共ケミカルファーマ(株)、田中貴金属工業(株)、東レ(株)、日本ケミコン(株)、NOK(株)、(株)ハニーズ、三井金属鉱業(株)、いわき市役所

【都市システム工学科】 (旧:建設環境工学科)

- 〈2019年度〉 (㈱東コンサルタント, エヌ・ティ・ティ・インフラネット(㈱, オルガノ(㈱, 水 ing (㈱, 高砂熱学工業㈱) 東京急行電鉄(㈱), 東京ガス(㈱, 東京モノレール(㈱, 日本ファブテック(㈱, (㈱)東日本建設コンサルタント 東日本旅客鉄道(㈱, 電源開発(㈱, ユニオン建設(㈱, いわき市役所, (国研)日本原子力研究開発機構 福島県警察
- 〈2018年度〉 エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、オルガノ(株)、電源開発(株)、東京地下鉄(株)、東京都下水道サービス(株)、(株)東日本建設コンサルタント、フタバコンサルタント(株)、いわき市役所

【ビジネスコミュニケーション学科】 (旧:コミュニケーション情報学科)

- 〈2019年度〉 アルプスアルパイン(㈱)、花王(㈱)、(㈱協和エクシオ、キヤノン(㈱)、クレハ運輸(㈱)、新日本空調(㈱) (㈱)大東銀行、東京ガス(㈱)、東京都下水道サービス(㈱)、東新工業(㈱)、東部液化石油(㈱)、東日本旅客鉄道(㈱) (㈱)富士通エフサス、(㈱)FIXER、吉田源吾税理士事務所、いわき市役所、福島県市町村立学校事務職員
- 〈2018年度〉 (株)アプリ、アルパイン(株)、NTTコム ソリューションズ(株)、河井順行税理士事務所、キヤノンアネルバ(株)、常磐共同火力(株)、(株)スリーエス・クリエータ、東京ガス(株)、東京都下水道サービス(株)、東部液化石油(株)、東京電力ホールディングス(株)、日鉄住金テックスエンジ(株)、HITOWAホールディングス(株)、(株)日立ソリューションズ東日本、ひまわり信用金庫、(株)富士通エフサス、いわき市役所

出 願 書 類

(注意)

令和3年度編入学生は、改組後の学科に入学となります。 そのため、出願書類(「願書」「写真票」「受検票」「推薦書」) 作成の際、各出願書類の「志望学科」欄には、次の学科名を ご記入ください。

- 1.機械システム工学科
- 2.電気電子システム工学科
- 3.化学・バイオ工学科
- 4.都市システム工学科
- 5.ビジネスコミュニケーション学科

受検番号	*
志望学科	学科

令和3年度

編入学者選抜

推薦書

令和 年 月 日

福島工業高等専門学校長 殿

高等学校名

校 長 名

職印

下記の者は、高等専門学校教育を受けるに適していると認め推薦します。

s 氏 生年	が な 名 月日	平成	年	月	日生	男・女	在学	科	籍名	
学科(クラス)	内席次				人	.中		第	位
推										
薦										
Ø										
理										
由										

- ① この用紙は機械システム工学科・電気電子システム工学科出願の者のみ提出が必要です。
- ② 「推薦の理由」欄は、できるだけ具体的に記入して下さい(ワープロも可)。
- ③ ※印欄は、記入しないでください。

令和3年度 福島工業高等専門学校検定料納入書

(高専提出用)

		(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
HE		金融機関領収印
住所	電話 一 一	1
フリガナ 氏 名		3 ケ所押印
		¥16,500
※裏面にある	「納入上の注意」をよく読んで手続きをしてください。	受検番号 HE

----- 切り取らずに窓口にお出しください ----

令和3年度 福島工業高等専門学校検定料振込金(兼手数料)受取書

(本人保管用領収書)

HE		金融機関領収印
フリガナ		左記の金額受け取りました
氏 名	様	
振込先銀行	東邦銀行 いわき営業部 普通預金 2325328	
口座名	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 土生木茂雄	
	金 額 ¥16,500	3ケ所押印
	手 数 料 円	

振込依頼書



納入上の注意

- 1. 太枠内をペンまたはボールペンで記入してください。
- 2. 金融機関 (郵便局およびゆうちょ銀行を除く) の窓口へ持参し振り込んでください。ATM (現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコン等からの振り込みはできませんので、ご注意ください。
- 3. 振込手数料が別途必要ですのでご負担願います。
- 4. 「納入書」と「振込金(兼手数料)受取書」は、金融機関領収印があることを確認の上受け取ってください。
- 5. 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合、もしくは誤って二重に振り込んだ場合は検定料の返還請求ができますので、下記に申し出てください。

検定料返還に関する問合せ先 総務課財務係(電話 0246-46-0716)

令和3年度 編入学者選抜願書

福島工業高等専門学校

						1	×141-3 +3 +31 3 3 1.
受材	黄番号	*					
志旨	望 学 科						学科
	ふりがな						男
 志	氏 名						女
	生年月日		平成	年	月	日生	•
	ふりがな 現 住 所	〒 −					
願		電話番号()	_			
	通知を受ける場所	-					
者	在 籍 または 卒 業 高等学校	〒 - 所 在 地 電話番号()	_	高祭	ទ 学校	科
保	氏 名					本人との 続 柄	
護者	現住所	〒 −				,	

裏面の「記入上の注意」を参照のこと。

*

令和3年度 編入学者選抜

写真票

福島工業高等専門学校

	番号)V ***
志望	学科			学科
ふりがな				男・
氏名				女
	_		_	
		写真貼付		
		タテ 4.5 cm		
		ヨコ 3.5 cm		
		最近3ヶ月以内に 上半身,脱帽,		
		正面向きで撮影		
		したものを貼って ください。		
		\ <i>I</i> _E_E_V'.		
			_	

※印欄は、記入しないでください。

令和3年度 編入学者選抜

受 検 票

福島工業高等専門学校

受検	番号	*	
志望	学科		学科
ふりがな			男
氏名			· +r
1			女

検査日程 令和2年9月1日(火)

	1-1	
受	付	8時15分~8時30分
諸注	意	8時 45 分~ 8時 55 分

- ※志望学科により検査内容および 検査等の時間が異なります。 詳しくは募集要項の6~7ページを 参照してください。
- と ※印欄は,記入しないでください。

受検者心得

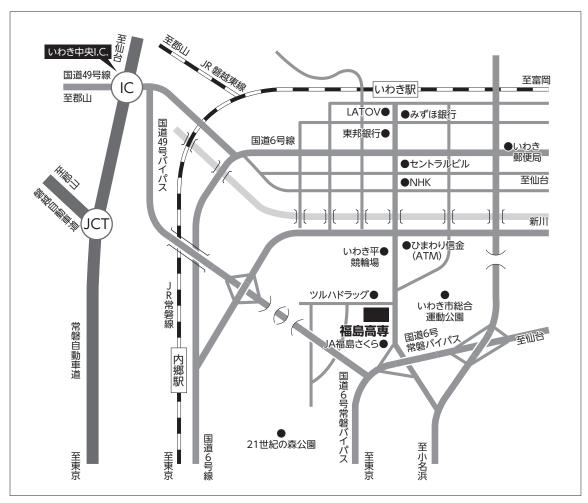
- ① 受付終了後は、本校職員の指示に従ってください。
- ② 遅刻した場合は、本校職員に申し出て指示を受けてください。
- ③ 受検にあたっては、受検票を忘れずに携帯してください。
- ④ 携帯電話等の通信機器は、本校構内では使用を禁止しているので、持参している受検者は電源を切っておいてください。
- ⑤ 不正行為があった場合は、退室を命じ、全 科目の検査を無効とします。

以上

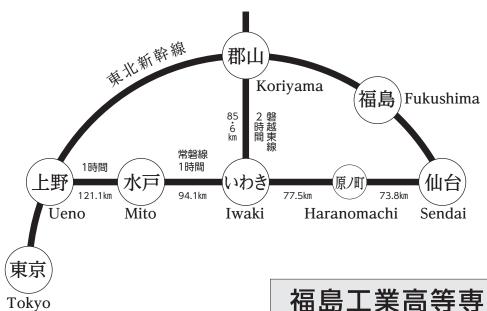
編入学者選抜願書 記入上の注意

- 1 各欄は、黒ボールペン等を使用し、楷書で正確に記入してください。
- 2 通知を受ける場所が、現住所と同じ場合は「同上」と記入してください。
- 3 保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者に同じ」と記入してください。
- 4 ※印欄は、記入しないでください。

案内図 Location



※ J R 常磐線いわき駅前から新常磐交通バス約10分 (⑥番のりば鹿島経由小名浜行き又は医療創生大学経由ラパークいわき行きに乗車し高専前で下車)



福島工業高等専門学校 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30